【２】年【技術】科　　年間指導・評価計画

教科担当【伊勢　竜太】　　総授業時数【３５】時間

月	単元名・題材名 学習内容	時数	評価規準＜おおむね満足できる：観点B＞（評価資料） 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	【材料と加工】 ・製作品の塗装を行う［A(2)ｱｲ］	3	・安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる技能を身に付けている。（定期考査、作品）	・適切に塗装ができるよう手順を考えて素地磨きを行うことについて考えている。 ・完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正について考えている。 （定期考査、作品）	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。 （ノート）

4 5 6 7 8 9	【生物育成】 ・栽培問題解決の手順を知り、生物育成の技術を用いて解決したい問題を見つけ、課題を設定する。［B(2)ｲ］	8		・生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題設定について考えている。（ワークシート、定期考査）	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 （ワークシート、ノート）
	○設定した課題に基づき、育成環境の調節方法を構想して、育成計画を具体化する。［B(2)ｱｲ］		・育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる技能を身に付けている。 （ワークシート、定期考査）	・条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことについて考えている。 （ワークシート、定期考査）	
	○安全・適切に栽培・検査し、必要に応じて適切に対応する。［B(2)ｱｲ］				・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。（ワークシート、ノート）
	○設定した課題の解決状況を評価するため、作物の生育状況と、育成環境の調節、成長の度合いなどのデータを記録する。［B(2)ｱｲ］			・育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら、合理的な解決作業について考えている。（ワークシート、定期考査、作業状況）	
	○収穫の様子（品質や収穫量など）と、解決過程で収集したデータとを整理して、収穫レポートにまとめながら、問題解決の過程と結果を振り返る。B(2)ｱｲ			・自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて考えている。（ワークシート、定期考査）	

5 6	【情報とコンピュータ】 ○情報の技術に関する製品やサービスに込められた工夫や仕組みを調べる。 ・情報の技術が生活や社会で果たしている役割をまとめる。［D(1)ｲ］	1		・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。（ワークシート、定期考査）	・主体的に情報の技術について考え、理解し、技能を身に付けようとしている。 （ノート、振り返り）
	○コンピュータがもつ主な機能と主な装置の仕組みを知る。 ・情報のデジタル化のしくみやデジタル情報と情報の量の関係を知る。 ・デジタル化された情報の特徴や情報を圧縮する目的と基本的な仕組みを知る。 ［D(1)ｱ　D(3)ｱ］	1	・情報の表現、記録、計算についての科学的な原理・法則や情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解している。 （ワークシート、定期考査）		
	○コンピュータシステムの構成と ソフトウェアの働きを知る。 ［D(1)ｱ　D(3)ｱ］	1	・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みについて理解している。（ワークシート、定期考査）	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。（ワークシート、定期考査）	
	○文書処理ソフトの活用［D(2)ｱ］	2	・ワードプロセッサについて正しく理解し、機能や技術等を作品に反映させることができる。 ・学習した内容を理解し、正しく入力し、読み手にわかる文書を作成することができる。 (授業データ、ノート、テスト)	・ワードプロセッサについて正しく理解し操作することができる。 ・作成したデータの保存など自己管理できる。 ・コンピュータを正しく使用することができる。 (授業データ、ノート、テスト)	
	○表計算ソフトの活用［D(2)ｱ］	3	・表計算ソフトについて正しく理解し、機能や技術等を作品に反映させることができる。 ・関数やグラフ作成について正しく理解し、機能や技術等を作品に反映させることができる。 (授業データ、ノート、テスト)	・表計算ソフトについて正しく理解し操作することができる。 ・関数等について正しく理解する。 ・グラフについて理解し、作成することができる。 (授業データ、ノート、テスト)	
6 7 8 9 10	○プログラム制御 ・計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。[D(3)ｲ] ※ライフイズテックレッスン活用 ・プログラムの試行・試作を通じて設計を具体化し、制作工程表にまとめる。 [D(3)ｲ] ・制作工程表をもとに、安全・適切なプログラムを制作する。[D(3)ｱ] ・完成したプログラムを発表し、設定した評価項目に沿って相互評価する。 ・目的が達成できなかった原因や、さらに改善できる点をまとめる。[D(3)ｲ]	6	・計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。(ノート、定期考査、授業データ) ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 (ノート、定期考査、授業データ)	・計測・制御に関わる問題を見いだし、課題設定について考えている。 (ノート、定期考査、授業データ) ・入出力されるデータの流れをもとに解決策となる計測・制御システムを構想し、情報処理手順の具体化について考えている。 (ノート、定期考査、授業データ) ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業について考えている。 (ノート、定期考査、授業データ) ・問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正について考えている。 (ノート、定期考査、授業データ)	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 (ノート、振り返り)

10 11	【エネルギー変換】 ○電気エネルギーの特徴 ・様々な電源の電圧の大きさや波形等、電気の物性に関する観察・比較を行う。 ・電気エネルギーを光や熱、動力、音・信号へ変換する仕組みに関連した観察・実験を行う。［C(1)ｱｲ］	1	・電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき説明することができる。 ・電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。（ワークソート、定期考査）	・発電システムは、エネルギーの変換効率だけでなく、稼働率やコスト、環境負荷等にも配慮して設計されていることについて考えている。（ワークソート、定期考査）	・発電システムは、エネルギーの変換効率だけでなく、稼働率やコスト、環境負荷等にも配慮して設計されていることに気付くことができる。 ・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解し、技能を身に付けようとしている。（ノート、振り返り）
12 1 2	・家庭で起こる電気の事故と原因について調べ、それらを防止するための仕組みや電気機器の定格について知る。 ・工具や回路計等を用いて、テーブルタップ等の電気機器の保守点検を行う。 ［C(2)ｱ C(1)ｱｲ］	3	・電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みについて理解している。 ・工具等を適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる技能を身に付けている。（ワークソート、定期考査）		
3	○防災ラジオの制作 ・「防災用ライトの回路図」「LEDが点灯する仕組み」を知る。 ・非常時に点灯する仕組みを考え試作する。［C(2)ｱｲ］	5	・回路図を用いて、LEDが点灯する仕組みについて理解している。 ・製作に必要な図を書き表すことができる技能を身に付けている。（作品、ワークソート、定期考査）	・問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。（作品、ワークソート、定期考査）	
	・製作物を評価し改善点を考える。 ・エネルギー変換の技術で学習したことや身に付けた見方や考え方を振り返る。［C(2)ｲ C(3)ｱ］	1	・安全で適切な製作、実装、点検及び調整ができる技能を身に付けている。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。（ワークシート）	・持続可能な社会を実現するために、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の仕方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。（ワークシート）	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。（ワークシート）